

# 照札触札長屋風聞帳15 龍の角胤 坂岡真



やなぎしまむら  
本所柳島村

ひろお  
広尾

したやどほうちよう  
下谷同朋町

しもうさくら  
下総佐倉

かんだひらながちよう  
神田平永町

いんぼぬま  
印旛沼

やげんぼり  
薬研堀

きりゆう  
桐生

はまちよう  
浜町

たかさき  
高崎

うおがし  
魚河岸

まえばし  
前橋

てれふれちよう  
照降町

いせざき  
伊勢崎

かまくらがし  
鎌倉河岸

いたばなしゆく  
板鼻宿

こふくちよう  
呉服町

うすいとうげ  
碓氷峠

みなみやばちよう  
南茅場町

ふじえだ  
藤枝

こびきちよう  
木挽町

まるこ  
丸子

つきじあかしちよう  
築地明石町

しんばしいずもちよう  
新橋出雲町

しばしんめいちよう  
芝神明町

いいくらしんまち  
飯倉新町

あさまさん ざ えもん  
浅間三左衛門 (元上州富岡七日市藩士 楠木正繁 横川釜飯)

おまつ (女房 出戻り じゅうぶいちや 十分一屋)、おすず (娘)、おきち (次女)

またしち じょうしゅうやとみぞう  
又七 (おまつの弟)、上州屋富蔵 (糸屋 亡人)

ゆうげつろうきん べ え いっこくもまたせん  
夕月楼金兵衛 (茶屋 一刻藻股千)

やおはんしろう へ おすかし  
八尾半四郎 (南町定町廻り同心→用部屋手付同心 尻尾酢河岸)

絹代 (母)

はんべえ  
半兵衛 (叔父) 一おつや (妾)

しらいぎ えもん なみ  
白井義右衛門 (勘定方組頭 半兵衛の義弟)、菜美 (娘)

やぶもとげん えもん  
藪本源右衛門 (会津藩江戸留守居配下)

てんどうとらのすけ あおくびにこめ  
天童虎之介 (元会津藩士 青首尼呼女)、おそで (長屋の隣人)

つついきいのかみまさのり  
筒井紀伊守政徳 (南町奉行)

せんぞう  
仙三 (御用聞き 廻り髪結い)

ならばやしひようご かちめつけ ゆきの  
榎林兵庫 (元徒目付)、雪乃 (娘 隠密同心)

あらかへいだゆう ぶんじ  
荒木平太夫 (本所見廻り同心)、文治 (岡っ引)

おきた<sup>ゆうひつ</sup>（右筆 代書屋）

ももせ<sup>おきや</sup>百瀬おかつ（置屋）、さだ吉（柳橋芸者） — 安五郎（情夫）

みのきち<sup>み</sup>蓑吉（油売り）

なかじまとうけん<sup>な</sup>中嶋唐硯（医者）

おくま<sup>おかみ</sup>（船宿の女将）

ぼうしゅうやじ<sup>えもん</sup>房州屋治右衛門（炭問屋）

さくらやちようべえ<sup>やまかたんしんとんや</sup>佐倉屋長兵衛（山方炭薪問屋）

うすい<sup>ないぜん</sup>臼井内膳（佐倉藩江戸留守居役）、梶岡琢磨（用心頭）

いしばさこん<sup>い</sup>石場左近（佐倉藩目付）

ゆらもんどのすけ<sup>い</sup>由良主水之介（元佐倉藩士）

あたごやとくさぶろう<sup>せいしち</sup>愛宕屋徳三郎（絹糸問屋） — おみき（女房）、あきぬ（娘）、清七（手代）

ほるなやそうざえもん<sup>そうた</sup>榛名屋惣左衛門（絹糸問屋） — おゆう（後添え）、惣太（息子）

いしくらかげゆ<sup>い</sup>石倉勘解由（八州廻り）

でんまやでんべえ<sup>さききばらひょうごのすけ</sup>伝馬屋伝兵衛、榊原兵庫之介（用心棒）

くろぐも<sup>やごろう</sup>黒雲の弥五郎（凶状持ち）

まりこりゅうのしん<sup>はしづめとうま</sup>丸子龍之進（元田中藩横目付 橋爪冬馬）、龍一郎（義息子）

かすかべくらんど<sup>い</sup>粕壁蔵人（元田中藩勘定方組頭）

よしざわせんじゅうろう<sup>きりみせ</sup>吉沢銑十郎（元田丸藩勘定方） — おこう（元妻 本所切見世の女将）

よりいさんだゆう<sup>おなんどかしら</sup>寄居三太夫（幕府御納戸頭）、佐藤監物（用心頭 粕壁蔵人）

きのもとげんご<sup>はせがわかめすけ</sup>木之元源吾（貸金 元幕府御納戸役） → 長谷川亀介（浪人 貸金）